

第2回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議 会議録

日時 令和8年5月13日(水) 10時00分から11時35分
場所 周南市役所 庁議室
出席者 ・委員9名
榑原 弘之、河野 拓也、鶴田 来美、稲垣 円、桐生 智晃
山本 佐智子、西崎 博史、原田 宗隆、児玉 真
・事務局5名
企画部長 林 真也、企画部次長 柿並 裕司
企画課市民館跡地利活用推進室
室長 中村 成孝、室長補佐 近松 昌哉、主査 濱本 亮
・株式会社シアターワークショップ 古川、浅野
資料 ・会議次第のとおり

会議録

1 開会

- ◇事務局 それでは定刻前ですが、ただ今から、第2回市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議を開催いたします。
- 本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の司会を務めます、企画課の中村と申します。よろしくお願いいたします。
- 本日の会議は10名中8名の委員の皆様にご出席いただいておりますが、鶴田委員は所用により、11時頃ご到着されるご予定となっております。また、文化振興財団の松本委員は所用のため本日はご欠席となっております。

2 議事:(1)市民意見聴取結果の共有

- ◇事務局 それではこれより議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、榑原会長、どうぞよろしくお願いいたします。
- ◎会長 おはようございます。では始めさせていただきたいと思います。第2回目の開催でございます。進行につきましては、委員の皆様のご協力をお願いいたします。議事は3点ございます。
- 議事1 市民意見聴取結果の共有ということで、まず事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ご説明ありがとうございました。ただいまの市民からの意見聴取に関して、皆様からのご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

◎会長 ワークショップを学生限定にしていますが、前は市民一般だったと思います。今回は少し違う形でやってみようという意図でしょうか。

◇事務局 前は市民を重視というかたちで、多くの皆様からご意見をお伺いしました。その意見は非常に貴重で大切なものでございますので、それはそれとして当然こちらにも反映しなければならない。プラスアルファというところで、実際今後使っていただきたい世代の皆様のご意見をしっかり聞いていこうということで、今回はあえて学生を対象を絞りました。

●委員 ワークショップですけれども、対象となるのは高校生大学生とお話がありましたが、今多様な中で、障害のある方や不登校の方のご案内についてはどう考えていますか。

◇事務局 広く公募という形を取ろうと思っておりますので、もちろん市内にございます各学校の方には、よろしく申し上げますということで、ご挨拶には回っております。SNS等、若い子達が応募しやすい環境を作っていこうということで、ホームページ等のデジタル面での募集や各学校への配布等を通して、ご協力をお願いしています。

◎会長 公募は大前提だと思うが、ワークショップの参加者の募集は一般的に難しいです。色々な学生さんが入っていただけるような、例えば音楽などの活動をされている方も入ってもらえると良いのかなと思います。なかなかワークショップ参加者を集めるのは大変だと思いますが、ご留意いただければと思います。

◎会長 こちらの件については以上とさせていただきます。

2 議事:(2)必要な施設機能および構成について

◎会長 続いて議事2 必要な施設機能および構成についてです。事務局から説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ご説明ありがとうございました。必要な施設機能及び構成ということで、大分具体的な話であったかと思います。ご意見、ご質問等ございましたらよろしく申し上げます。

●委員 良くまとめてもらえて、深い理解ができました。ポイントは小ホールの300席から500席をどこの点で絞り込んでいくか、非常に大きいポイントだと思います。個人的に全国の色々な劇場を見た考えでいきますと、恐らくこの街では極めて500席に近いホールが求められていると思います。300席を超えて400席、あるいは500席に限りなく近いかたちを据えた後に、圧倒的に足りないのは練習室や研修室、会議室で、これらをどこまでこの中に盛り込むかという点。そしてギャラリーは圧倒的に足りません。文化会館の展示室、あるいは美術館、博物館

含めてもまるで足りない状況です。銀行のロビーや色々な所を使って発表の場を求めているので、このような拠点ができるのとフル回転すると思います。にぎわいにも非常に有効な手段になるのではないかと思います。立派な美術館でなくとも、ものを見る空間をいかに演出できるかという視点でのギャラリーの空間づくりが必要だと思います。

駐車場についても非常によく分かりました。国の機関の活動状況で、特に2、3月は確定申告等があり、ある程度限界があります。そういった実態を見極めて、利用者も、小ホールの利用は平日の夕方から、等総合的に見て考えていく。物理的にも非常に限られているので、理想を言っても仕方ないですが、現実の中でいかに今の活動の拠点としての要素を盛り込むかは非常に大事だと思います。非常に良い参考資料なので、これを元に皆様ご意見ありましたらお願いします。

◎会長 様々な観点でご意見をいただきましたが、客席数に関して、現状は少し幅を持たせていますが、事務局の方で今のご意見に関して何かありますか。

◇事務局 事務局としましては、先ほどご説明した通り、現状は300席から500席というところで、今後設計段階等でお示しますが、今回各委員の皆様方から色々なご意見を頂戴する中で、その辺も整理していきたいと思っております。

●委員 文化会館の利用状況の人数について、利用というのは客席の利用なのか舞台を含めた利用なのか、それによって随分判断が違ってくるような気がします。練習で使う場合は客席を使っていないはずですが、どう集計しているのか聞きたいです。

◇事務局 集計につきましては、練習も本番も含まれた人数としています。利用者様が利用時に申請をした時の人数となっていますので、実績値との乖離がもしかするとある可能性があります。

●委員 合唱団は出演者が100人で客は300人ですが、リサイタルであれば出演者は3人で客は300人となります。ホールに必要な客席数に連動しておらず、客数が何人かという判断ではないので、判断基準をどう作るか考える必要があると思います。

また、健診ホールについて、年間何日程健診としての利用がありますか。リハーサル室と共用ということは、健診があるためリハーサルができないということが起こり得ます。効率的には間違いないと思いますが、年間何日使われているのか検討はつきますか。

◇事務局 担当課とも確認したところ、純粋な健診としての利用は年間50日程度でした。

●委員 残りはリハーサル室として貸し出しているということですか。

◇事務局 そうです。また健診も丸々一日使うという訳ではございませんので、時間帯をずらすことで上手く利用ができると考えています。

●委員 楽屋や会議室ですが、事例が所謂郊外型が多いです。横浜市戸塚区民文化センターさくらプラザ、スターズおおたかの森ホール、西神中央ホールなどしこ芸術文化センターはどちらかといえば郊外型ですが、今回のエリアは郊外型ではないと思います。伊予市文化交流センターIYO 夢みらい館の考え方が上手くいっていればこれで良いと思いますが、郊外の場合は今回のエリアの実状に合うかどうか心配です。もう少し独立都市の例があると嬉しいです。今後検討していく際にその点も含めて考えていただけるとありがたいです。

◎会長 伊予市文化交流センターIYO 夢みらい館以外は大都市圏の郊外で、皆さんの生活サイクルの中で考えると地方都市の方が参考になりやすいのではないかと思います。利用状況の件ですが、小さいものときほど誤差が大きくなりそうな気がします。今回は小ホールの検討であり、どれくらいデータがあるのか分からないですが、正味の客数になるべく近いデータで検討できると良いと思いました。ご指摘のような100人以下のケースもあり得る気がします。

◇事務局 実績報告を利用者団体から出してもらい人数をカウントしております。100人以下の利用につきましては、本番前日のリハーサル利用も申請をして利用してもらっていますので、リハーサルや練習利用が中心となっていると思います。例えば100人以上や200人以上の利用については客を動員した実績であると読み取っております。

◎会長 赤枠で囲われている辺りが客数でしょうか。

◇事務局 おっしゃる通りです。

○副会長 客席の話について私も共感しました。結論から申しますと、300席から500席と振幅が広すぎるのではないかと思います。駐車場の台数もそうだが、300人と500人だと1.5倍くらいの差があり、設計条件で出した際に、300人で設計した業者と500人で設計した業者では、我々が欲しいものと違ふかたちのものが提案されるのではないかと思います。客を入れて興行的にやることを考えると、300席でやるのはしんどいのではないかと考えています。最低でも400席から500席ないと、我々が作りたいたいものがないと思ったので、もう少し数字を絞っていくべきと思いました。周南市には、学び・交流プラザ等ホールは複数あるのですが、固定舞台固定座席は今回のホールならではだと思えます。舞台のサイズも明確な大きさが必要で、学び・交流プラザも奥行きがないので、具体的に提案したら良いと思いました。300席と500席で何が違うのかよく分からないのですが、その辺りはどうでしょうか。

●委員 性格は変わります。500席の場合は客を入れてイベントをするため、仕様もしっかりした舞台で使いたい人が増えます。一方、300席では発表会的な利用が増えると思います。もう一点、文化会館の稼働率はすごく高い訳ではないため、500席のホールをつくった場合、文化会館の稼働率は落ちることが考えられま

す。大は小を兼ねる面もあるので悪いことではないのですが、小ホールをどういった拠点にしていくのか明確にしていくのが良いと思いました。

◎会長 客席数に関するご意見が出ていますが、事務局に確認したいのは、有識者会議のうち、客席数やスケール感についてはどのタイミングで議論する想定でしょうか。そもそもこの場で議論する想定なのか、この辺りはいかがでしょうか。

◇事務局 スケール感や規模については、今回お示しした中で様々なご意見をいただけたらと思います。一旦事務局の方でご意見を受け止め、内部で整理させていただいたうえで、最終的には基本構想・基本計画の素案というかたちでパブリックコメントに、はかっていこうと思っております。そこまでに方針を示したいと考えております。

◎会長 500席に近いホールが欲しいという意見や、文化会館との役割分担が大事であるなど、市として考えるべき観点をこちらからお伝えするのが一番大事と思えば良いでしょうか。

◇事務局 そちらで良いです。

◎会長 いくつかの観点からご意見ありましたが、他の観点からもご意見いただきたいです。ご発言あればお願いいたします。

●委員 中学校で授業を持っている者の立場から失礼します。色々なプロの方の演奏に対応するのもホールの役割だと思いますが、我々現場は、こどもたちが日常的に立派なホールをお借りして、日頃の授業の発表の場にも使わせていただけたら、こんなに素晴らしいことはないです。現在、年に一度、大ホールで合唱や吹奏楽の発表で大いに活動させていただいております。そういった経験がどんどん増やせていけたらいいなと思っている現場の人が多という観点から、舞台が固定であるということで、合唱にしろ、吹奏楽にしろ、どうしてもひな壇の設置が必要です。電動式かどうか、設置の必要がないのか等、もしお考えがあれば教えてください。

◇事務局 ひな壇を電動化するかどうかは詳細な設計段階で検討していくと思われま。迫りやひな壇の設置を希望されるということであれば、意見を受け止めさせていただきます。

●委員 会場をお借りする際、教員も子どもも減少傾向にありますので、ひな壇や座席、臨時のパイプ椅子の設置を出すのに多くの時間と労力を使っています。作っていただけるのであれば、文化会館のように可動式・電動式であると大変助かります。もう一つご質問ですが、人の移動やお客様の駐車場のことですが、それぞれの楽器や子ども達をバスで輸送する場合、子ども達の安全を確保しながら横断させることに現場は気を遣います。一般のお客様の駐車場の確保も大事ですが、搬入トラックの別の経路も確保していただけると助かります。

●委員 多目的のホールで、音楽以外の演劇やダンス等の利用もするとなると、バックヤードの面積も必要になります。搬入については、トラックをどこに置けるか話していました。搬入は東側からのみでしょうか。この辺りに面積を削ってトラックが入れる搬入口を付れたり、バスを置いておくスペースを設けるなど考える必要があり、舞台設計が難しいと思っています。多目的・多用途でかつ専門性のある演目にも対応できるとなるとバックヤードのスペースはかなり必要になると感じました。その分練習室等の諸室数に影響が出る問題があるので、限られた中でせめぎあいが必要となります。これが良いと一概には言えませんが、その辺りも含めてご検討いただきたいです。

●委員 席数は500席に限りなく近い方が良いと思います。200名しか入らなくても500名の席だと満席感が感じ取れると思います。席数が多い方が利用しやすいと思いますので、500席であればお願いしたいです。搬入口については、複数の団体が使うか一つの団体が使うのかによって変わってくると思いますが、大型車が一台留め置きできるようなスペースは是非確保してほしいと思います。ひな壇の電動化については、舞台さんが常駐かどうかで変わってくると思います。舞台さん以外がひな壇を触るのは危ないので普通は組みませんが、地方だと舞台さん以外も手伝うことが良くあります。その辺りも非常に大切だと思います。

◎会長 駐車場のことで一点確認させていただきたいです。駐車場の需要推計をされている中で、自動車で来館する割合が64.1%とありますが、どういう考え方で算出したかもう少し詳しく説明いただけるとありがたいです。

◇事務局 全国道路・街路交通情勢調査の乗用車の分担率なのですが、平日休日ごとの通勤や通学等の項目があり、外出する手段として自動車を使われる人の割合が64.1%となっております。もう少し詳しく申し上げますと、通勤通学を除くその他の利用で自動車を利用される方の割合が、山陽エリアでは64.1%という結果が出ていますので、そちらを引用させていただいています。

◎会長 山口県では直感的にもう少し高いですが、一方で駐車場をどんどん作れば良いと思っている訳でもなく、例えば基本的に駐車場スペースは他を圧迫しますから、ある程度抑制的に考えた方が良いとは思っています。利用者の方に色々と考えて来ていただく必要性もあり得る気がします。

2 議事:(3)配置・整備パターン

◎会長 配置についてご意見があったので3配置・整備パターンに移っていきたく思います。それでは事務局から説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に、エリアコンセプトまで説明)

◎会長 ありがとうございます。既に少しご意見等が出ていましたけれども、ご質問ご意見等がありましたらお願いします。(会長)

●委員 建物は、東側の児玉公園や児玉神社側はある程度低くしながら空間としての美しさは保ってほしいです。威圧感のある建物がどんどんできるとそこで遮断されてしまう気がします。市役所、市庁舎、岐山通り、市民館跡地の新しい建物、そして歴史的遺産であるゴヨウマツや児玉公園と並びますが、児玉公園は子どもたちが大好きな公園で、放課後や週末は声が溢れかえっています。計画地が市民の活動の拠点となるには、児玉公園との一体的な連携が必要であろうと思います。

○副会長 第1回ワークショップの時から児玉公園との連携については出ていて、小学校から児玉公園、そのまま文化ホールへ、という流れができると一番良いと考えていました。今回は山口銀行が協力してくれたことで大分やりやすくなったと思っています。また、既存の保健センターが設計のハードルを上げているのですが、児玉公園との連携等、設計のパターンが豊かになるのであれば、保健センターを仮住まいさせる等で対応して、山口銀行と同じ段階で保健センターを取り壊すという可能性はあるのでしょうか。

◇事務局 今回の計画が一時中断する前から色々な検討はありました。いただいたご意見をもとに整理はしていきたいですが、現状では中々難しく、保健センターは残さざるを得ないかたちとなっています。

◎会長 仮住まい等の対応は費用面等でなかなか難しいのでしょうか。

◇事務局 場所の確保が難しいです。エリアが都心部にあるため、利用者がお子さん連れの方や妊娠中の方も想定されますが、その方々の相談先がさらに郊外の遠く離れたエリアになってしまうという訳にはいきませんので、皆様のご不便をかけないための施設を完成させる必要はあると思いました。ご意見はしっかり受け止めたいて考えています。

●委員 過程として、4期の狭いエリアに何を入れる想定か分かりません。3期と4期で別々で作っていくと、まず保健センターを3期の中で建てて、その後ホールを建てると思うのですが、公園との連動等が難しいのではないかと思います。4期のエリアに練習室や会議室の棟ができるのか等、想定はありますでしょうか。

◇事務局 整備可能エリアとして示しているのですが、敷地いっぱい建物が建つという訳ではないですが、何をどのように積むかは現状何とも言えないです。当然、広場空間や児玉公園との連動を意識する空間づくりを考える必要があるとは思いますが。舞台のサイズに拘ると、舞台の置く場所が限られてしまいます。敷地は元々広くはないため、袖やバックヤードが十分にとれた舞台は正直難しいです。そのため、どこかを犠牲にして、設計の中で折り合いをつけないといけないと考えています。

●委員 客席数とのバランスや、バックヤードのサイズによってホールの使いやすさは変わってくると思います。4期整備が終わるまで何年掛かりますか。これは市民

にとっては重大だと思えます。ワークショップで意見を挙げてくれた高校生が大学を卒業するまでに施設が完成しないということもあるので、イメージとして持っておきたいです。

◇事務局 国の機能は今年度から設計予算も取っていますが、山口銀行の意思決定のタイミングが未定であり、市単独で進められない部分もあるため、何年までに完成するかはお示しが難しい状況です。

●委員 国の施設が工事を始めると、駐車場は減ってしまうということですか。

◇事務局 工事が始まると、現在の臨時駐車場は使えなくなるため、立体駐車場を建設することを考えています。

◎会長 2期のエリアは基本的に山口銀行の占有と考えて良いのでしょうか。2期のエリアに公共的機能をもたせるのは難しいということが大前提としてあるのでしょうか。

◇事務局 山口銀行の機能が2期のエリアに移転しないと解体が進められないのですが、ここに公共がどういったかたちで絡むのかは検討中です。

●委員 子どもの居場所づくりという立場から、児玉公園との連携として、公園の中に施設があるというイメージとすると、居場所機能としても災害的機能としても成り立つと思います。しかしスペースが手狭なので、山口銀行や保健センターをエリアにどう盛り込むか、合同庁舎の中に保健センターや銀行の機能を分散して入れることは可能か確認したいです。また、駐車場台数は155台がマックスとありますが、道の渋滞や混雑が考えられるため、車の動線についてお考えがあればお聞かせください。

◇事務局 協議の結果、市の機能は合同庁舎には入らないという結論を去年ご報告させていただきました。その他の機能については、建物のかたちにもよりますが、このエリア、建物に入るかはこれから検討と思っています。また、立体駐車場への動線については、建物の位置関係からすると北側の検察庁との間辺りで現状想定しています。

◎会長 搬入の事を考えると、児玉公園側の道の交通の処理が大事だと思っています。公園との連続性も考慮すると、歩行者が横断する情景も想定もされます。

●委員 山口銀行は単独で建つのでしょうか。上階で各建物が繋がり、一体となった見た目になるのか疑問です。また、駅からホールまで気楽に行ける歩道や、ホールや屋上から児玉公園まで行ける横断歩道を作って、誰でも行き来できるようにしてもらえたら嬉しいです。

◎会長 建物の一体感について、現状のゾーニング図は街区のように見えますが、その辺りはこれからの議論次第となるのでしょうか。

- ◇事務局 次回の7月の検討委員会において、配置についてご提案し、皆様でご検討いただきたいと思っております。山口銀行についても、皆様への情報開示について内部で調整しているところです。
- ◎会長 市が関わられるエリアについては、デザイン面でも機能面でもエリアとしての一体感があると良いと思います。4期のエリアに何の機能を持つてくるかは悩ましく、その辺りも含めて事務局の方でも検討いただきたいです。
- 委員 山口銀行は店舗を大きく構える時代ではないという認識を持ってらっしゃるので、店舗としての広さはあまり求めていないのではないかと思います。しかし、その中でも一企業として存在感を示したいはずなので、賑わいの生まれるギャラリー等は山口銀行と共有空間とすることは可能ではないかと思います。山口銀行も理解してくれると推測します。ディスカッションする中でお互いが良い方向、地域のためになる方向に協議されていくと良いと思います。
- ◎会長 一度検討が中止になり再開した中で、一番大きな変更点は山口銀行が入られたことです。選択肢が広がったことは良いことだと思います。
- 副会長 山口銀行のギャラリーと合わせて交流促進部門とすることが可能という話だと思いますので、固定概念を外して、山口銀行にも地域のための銀行づくりという視点に共感していただき、一緒にやりませんかという柔らかい感じがあっても良いと思いました。また、4期エリアの話もありましたが、ペDESTリアンデッキのような、下は抜けている状態でかつ駐車場から濡れずにホールに歩いて行けるような機能も必要になると思います。その辺りは恐らく設計者の手腕によると思いますが、我々としては、児玉公園はないがしろにしないでほしいということをご提案内容に盛り込んで、設計者に分かるように共有すると良いのではないかと思います。
- 委員 最後の話が一番重要で、山口銀行のご意見をどう処理すれば良いか良く分からないところはあります。銀行は場所自体は必要ないですが、企業としての存在感をどう示すかは課題だと思います。パブリックの場に銀行に入るという価値は感じていらっしゃるこそそのご提案だと思うので、一緒にやりませんかと踏み込んで考えを聞くことは必要だと思います。
- ◎会長 ありがとうございます。今回は具体的なお話もできて、制約が色々あることも分かってきたと思います。その中で客席の規模感等について、具体的にホールが機能するためのお話や交通、ゾーンの設定についても色々和您意見をいただいたと思います。周南市単独で進めるプロジェクトではないので、色々な制約があることは承知しております。ご意見を踏まえて事務局の方で引継ぎご検討をいただければと思います。

3 その他

- ◎会長 本日の議事については全て終了しました。最後に、「その他」として、事務局から連絡事項等をお願いいたします。
- ◇事務局 皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。本日の会議の内容につきましては、第1回と同様に議事録を作成し、皆様にご確認いただいた上で、市のホームページに掲載させていただきます。なお、第3回会議の開催は7月21日(火)14時から4階庁議室で行います。テーマは、配置計画および施設内ゾーニングの考え方、事業方針、施設運営の考え方を予定しております。また、今後の会議につきましては、第4回、第5回をそれぞれ9月と10月に開催したいと考えております。委員の皆様におかれましてはお忙しいところ誠に恐れ入りますが、なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。事務局からは、以上です。
- ◎会長 以上で、すべての日程を終了いたしました。長時間にわたり大変お疲れ様でした。それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

4 閉会

- ◇事務局 皆様ありがとうございました。以上をもちまして、「第2回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。お疲れ様でした。